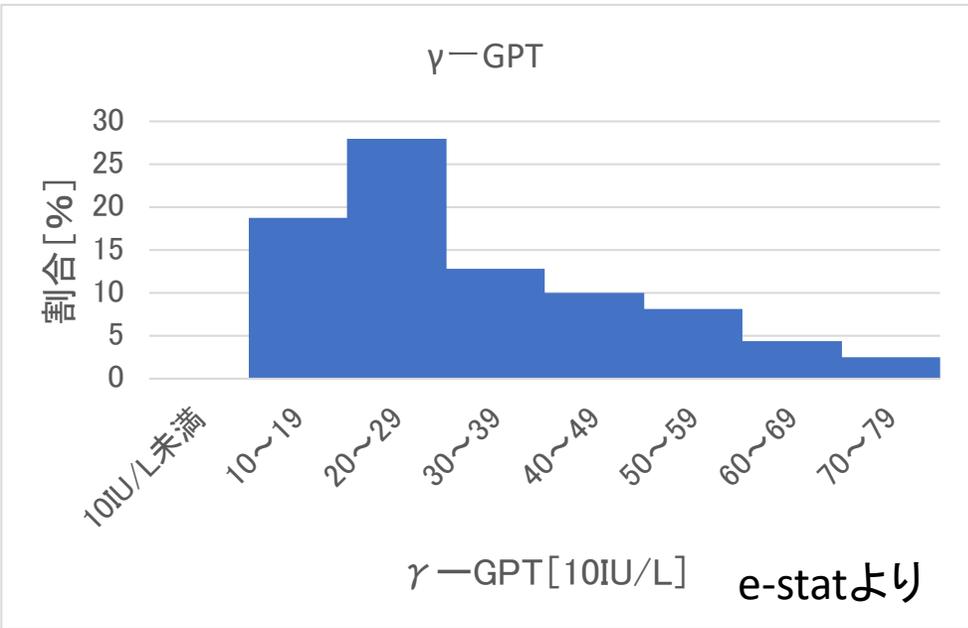
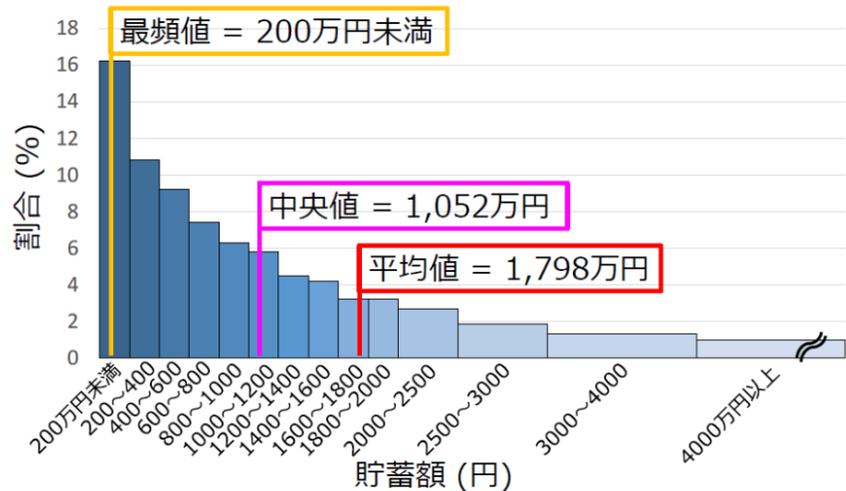
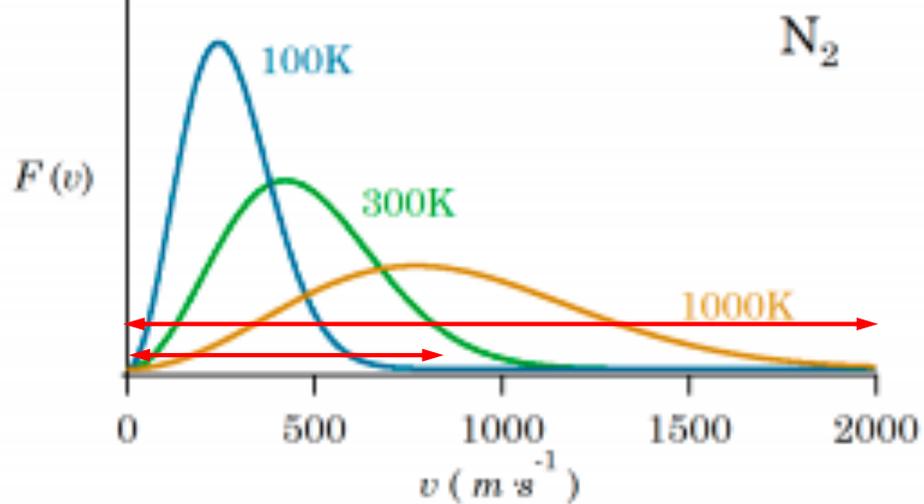


貯蓄現在高階級別世帯分布 (二人以上の世帯) (平成26年)

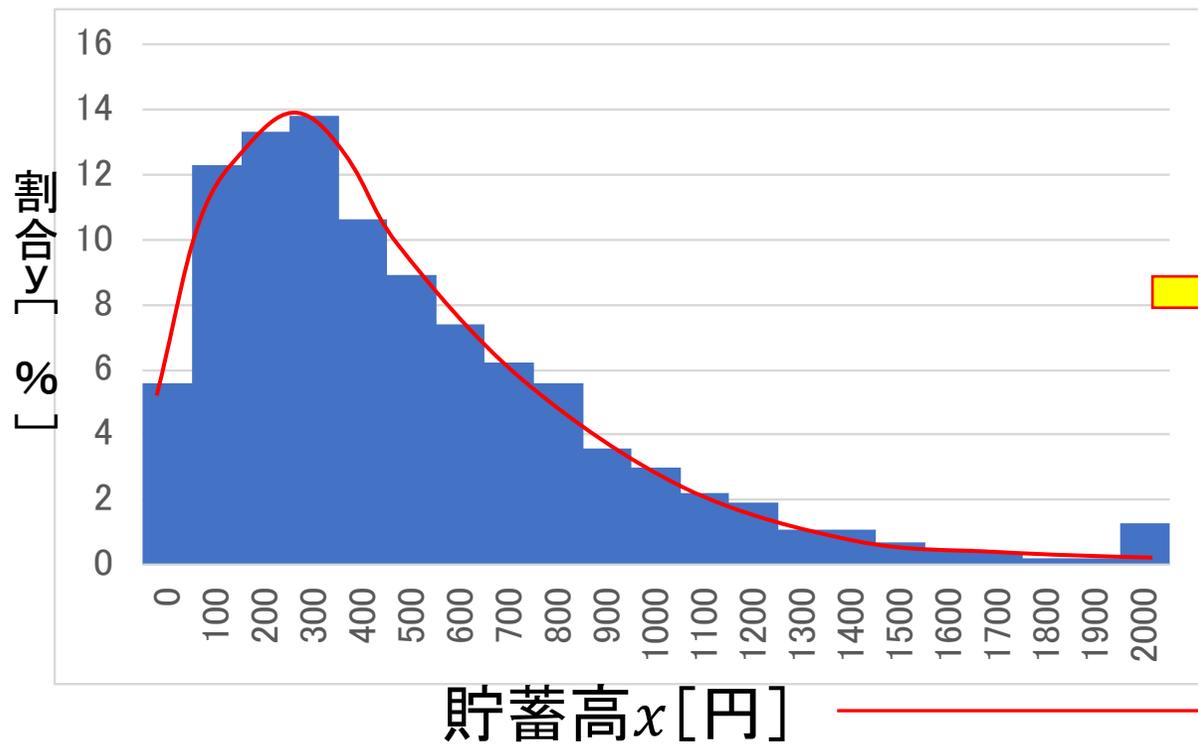


マクスウェル-ボルツマン分布

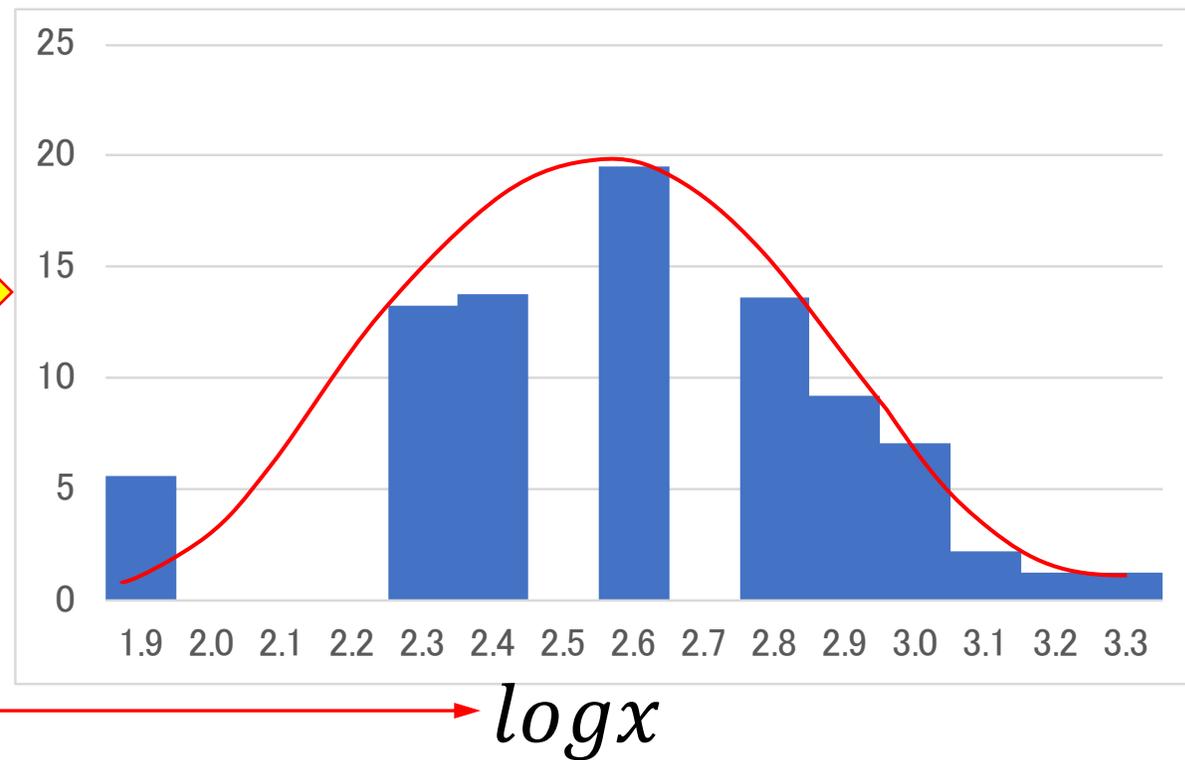


血清化学成分正常値の分布型

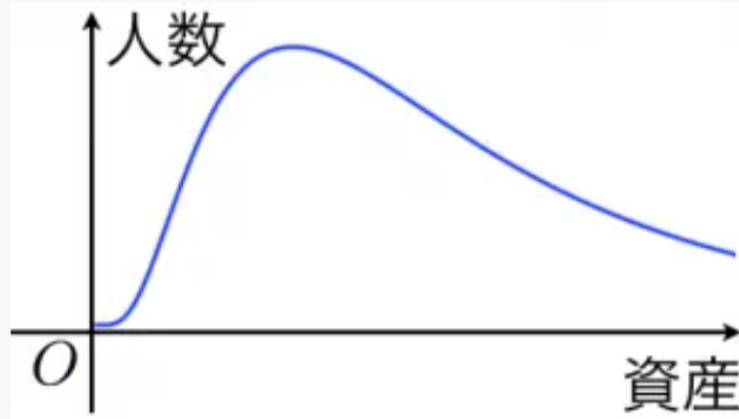
種目	正規分布型	対数正規分布型
無機成分	Na・Cl・Ca・無機リン	カリウム
窒素化合物	総蛋白質・アルブミン・A/G・尿酸	グロブリン・チモール混濁試験・ 亜鉛混濁試験・尿素・クレアチニン・ ビリルビン
糖・脂質	ブドウ糖	総脂質・リン脂質・コレステロール
酵素	コリンエステラーゼ	GOT・GPT・アルカリホスファターゼ・ アミラーゼ



対数正規分布



説明



人間は最初みんな資産を C だけ持っている。人生のとあるイベント i によって資産は e^{Y_i} 倍される。ただし Y_i は確率変数である。

イベント 1 から n まで起こった後の資産は $Ce^{Y_1+Y_2+\dots+Y_n}$ である。

各 Y_i がどのような分布に従うかは分からないが（長い時間経過したとき資産が減る人も増える人も同じくらいいるだろうということで） $Y_1 + Y_2 + \dots + Y_n$ の期待値は 0 と考える。

よって [中心極限定理](#) より、 n がそれなりに大きければ $Y = Y_1 + Y_2 + \dots + Y_n$ は正規分布に従うと考えられる。つまり、資産 Ce^Y は対数正規分布に従う。